

土井虎賀壽 著、折學者。明治二十五年一月十九日香川縣生れ、昭和四年二月二十日歿（一九〇二—二七）。本姓久保。大正十五年京都帝國大學文學部新學科卒。昭和十六年第二高等學校教授、のち相模女子大學教授。

譯著書、エミール・テラスク著『批判論』（久保虎賀壽名、譯、昭和四年六月二十日岩波書店）、同『折學の論理學』（同、譯、昭和五年九月十五日岩波書店）、ユツアラトイ差恥・同情・運命』（譯、昭和十一年十一月十日岩波書店）、『觸覺的世界像の成り立ち』（昭和十四年二月二十日岩波書店）、『生成の形而上學序論・第一部』（昭和十七年十一月十日岩波書店）、ルイ・ヤンボレヤス・サロメ著『ワグネル』（内題「ライナー・ヤリヤー・リスケ」譯、昭和十八年二月一日筑摩書房）、『雜草嚴淨』（合著、上可海雲編、昭和十八年十月十五日奈良・雜草乃蘭發行所）、『抒情詩の獻世』（ゲーテからニーチエへ）（昭和二十一年五月二十五日創元社『百花文庫』）、『ゲーテ感言抄』（昭和二十一年九月二十日大阪・秋田屋。再刊、二十二年八月二十日洋文社）、『ゲーテとニーチエを結ぶ』（昭和二十二年一月二十日創元社）、『ユツアラトイ差恥・同情・運命』（昭和二十二年六月二十日評論社）、『齋藤茂吉とニーチエの世界的世界』（昭和二十二年七月二十日永言社）、『生の祈願と否定の精神』（昭和二十二年九月二十日八雲書房）、『ニーチエの精神傳統』（昭和二十四年一月十日新人社）、『折



學から文學へ」(昭和)二十四年四月十五日新月刊社)、コゲーテのピエ  
ー・タニカム」(昭和)二十四年六月二日評論社)、ロジエイクスピアリ  
究」(合著、昭和)二十四年六月二十日新月刊社)、『生死の現象』(合  
著、昭和)二十五年五月二十日池田書店「思齋叢書」)、ニーチエ著  
『ソクラテウスとプラトンの語り』(譯、昭和)二十五年八月二十日二  
世書房「世界文學叢書」)、同「悲劇の誕生」(譯、昭和)二十五年十  
一月十日二世書房「世界文學叢書」)、『人生読本・3』(合著、白  
木放送協会編、昭和)二十九年六月二十日春陽堂書店)等。  
文獻、青山光「著」『われらが風狂の師』全二冊(上、下、昭和)五十六  
年七月十日新潮社「新潮叢書」)、『女芸作話』(再刊、二十一年四月一  
十五日「新潮文庫」)等。